

公開実用 昭和 58—179849

19 日本国特許庁 (JP)

特実用新案出願公開

12 公開実用新案公報 (U)

昭58—179849

51 Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

43 公開 昭和58年(1983)12月1日

H 02 J 3.00

6959—5G

G 11 B 15 02

6255—5D

19 08

8322—5D

審査請求 未請求

(全 頁)

54 自動電源切断装置

東京都文京区白山5丁目35番2

号クラリオン株式会社内

21 実 願 昭57—76741

出 願 人 クラリオン株式会社

22 出 願 昭57(1982)5月25日

東京都文京区白山5丁目35番2

72 考 案 者 中島昇司

号

明 細 書

1. 考案の名称 自動電源切断装置

2. 実用新案登録請求の範囲

電源スイッチを有せず、ステレオ装置の動作時のみ動作し、出力信号にてタイマーを動作させ、一定時間入力がない場合にステレオ装置の電源を切るようにされた自動電源切断装置。

3. 考案の詳細な説明

本考案は電源切断忘れによるも自動的に切断し、機器の保護及び摩耗の防止ができるようにしたものである。

例えば、ステレオを聞き乍ら眠つてしまい、朝迄電源が入つていたとか、或いは切り忘れたと云う失敗は多々あるものである。この場合、プレーヤーであるとそれは大変な問題である。そこで音が出なくなつてから或る時間が経過すると、自動的に電源が切れるようになることが望ましい。

本考案は上記したような要望を十分に満足

させるようにしたものであつて、その実施例を添附図面によつて説明すると、A 部分はステレオ装置で、該ステレオ装置が OFF の場合には本装置 B には電源は供給されず、消費電力は 0 である。

本装置 B のリレーが OFF 状態のとき、ステレオ装置 A に電源が供給される。ステレオ装置を ON にすると、SWICED OUT 電源 1 に供給され、本装置は動作する。ステレオ装置 A の SP 出力より無信号を検出する出力検出に信号入力し、入力ゼロ（ステレオが鳴っていない状態）の時にスタート命令を出し、入力が入ると（ステレオが鳴っている状態）タイマーリセット命令が出され、タイマーは再度ゼロよりスタートする。出力検出部は、レコードエンドのノイズを検出しないため、レベルのセッティング或いはパルス中の制御が必要である。

入力ゼロとなつてから、本考案では例えば 30 分経過すると、リレードライブ回路によ



りリレーへの信号が出され、ステレオ装置 A の電源は OFF となる。しかしこのままでは瞬間しか電源が切れていないため リレーの ON 側より電源 2 へ供給しリレーを保持させる。但し、リレーが動作し電源 2 によつて保持できる間は電源 1 のチャージ分を利用するので、比較的大きな電解コンが必要となる。また電源 2 は電解コンを有せず、極力早くリレーを保持させる。

本装置 B の動作後、再度電源を入れるためにマニュアルリセットを設けてある。ステレオ装置の電源 SW を OFF 後にリセットすると、全ての電源が切れる。電源を切り忘れると、切り忘れ表示に表示される。

上記したような本考案によると、余分な電力を必要としないので、省エネとなり、且つプレーヤ及びデッキの駆動系の保護も計ることが出来る等、実用性に優れている。

4. 図面の簡単な説明

図面は本考案装置のブロック図で、



A … ステレオ装置、 B … 本装置。

実用新案登録出願人

クラリオン株式会社



